



笠原 幸江
議員

市長公約について

市長公約について

質問

市長は、3期目の公約の筆頭に交流人口拡大を掲げ、今後4年間で20万人増を目指す」と明言をした。勇気ある数値化には新幹線開業や、糸魚川

ジオパークを核としたビジネスチャンスなどを背景にしているのだと思うが、観光交流人口の入込数の傾向や、20万人の増加目標の分析、近隣市町村による(仮称)北アルプス日本海広域観光連携会議の取り組みの状況について伺う。

また、フォッサマグナミュージアムを、教育委員会から市長部局へ転換する考えはないか。

市長答弁

市の入込客数は増加傾向にあり、新幹線糸魚川駅開業に向けて、ジオパーク戦略プロジェクトを進めることにより、目標は達成できるものと考えている。

及び北陸本線沿線の市町村と広域的な観光連携を図ってきたいもので、8月上旬の設立に向けて準備を進めている。

また、フォッサマグナミュージアムは教育機関としての位置付けであるが、ジオパークの核施設でもあり、ジオパーク活動が広範囲に渡るものであることから、今後、提案について検討していきたいと考えている。



保坂 悟
議員

交通弱者(買い物弱者)の支援について

交通弱者(買い物弱者)の支援について

質問

おでかけパス券・タクシー券や、コミュニティバス・乗合タクシーの利用状況と効果は。また、デマンドバス導入

に向けた検討状況は。

市長答弁

おでかけパス券・タクシー券については、両方で年間4,298人の方が利用しており、効果としては、外出する機会が増え、閉じこもり予防の一助になっていると考えている。

コミュニティバス・乗合タクシーについては、現在6地区13路線で週に1回運行し、年間約4,500人の利用がある。

主に路線バスのない地区の皆さんが通院や買い物などに利用されている。

デマンドバスの導入については、現在運行中のコミュニティバス・乗合タクシーも一種のデマンド交通であり、いずれも路線バスに比べてコストがかかっている状況でもあることから、今後も調査していきたいと考えている。

保育事業について

質問

利用希望者が多い保育園の定員の増員はどうか。また、糸魚川市次世代育成支援後期行動計画の「保育の見直し」の進捗よく状況は。

教育長答弁

入園希望者が多い旧糸魚川市内の施設については、やまのい保育園の新築や中央保育園の改修により、定員を増やすなどの対応を行っている。保育の見直しについては、休



フォッサマグナミュージアム前で行われた「市民緑日」、「クラシックカーミーティング」の様子(5月3日)

日保育の実施や学童保育の開設場所を増やすなどの充実を図ってきたが、今後は夜間保育や病後児保育等について検討していきたい。



《その他質問項目》

- ・子育て支援について
- ・特色ある(儲ける)まちづくりについて